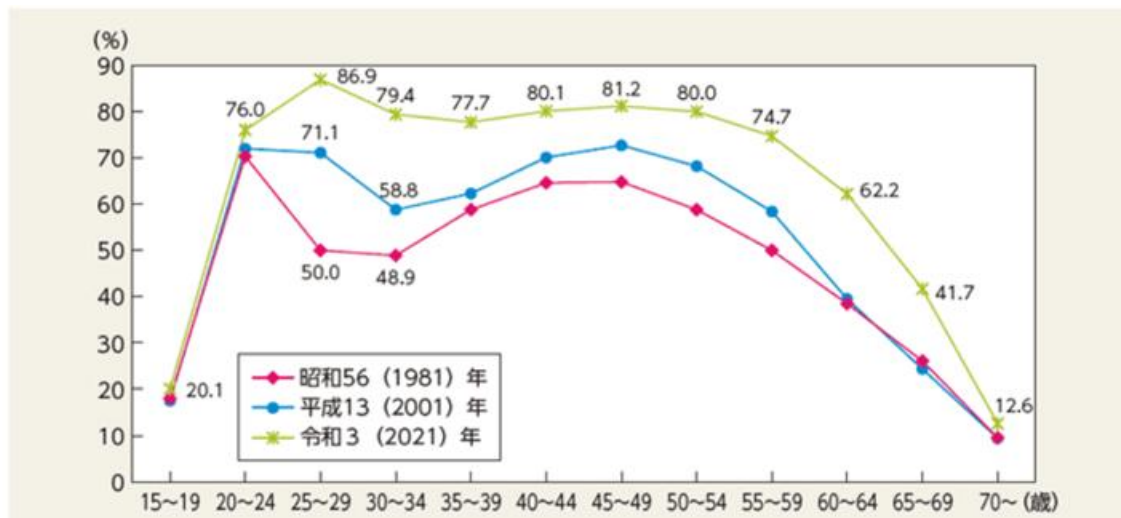


第5章 EXERCISE のヒント

EXERCISE (テキスト 113 ページ)

- ① ある企業のエントリーシートで「よりよい社会をめざすうえで、『結果の平等』と『機会の平等』についてどう考えるべきだと思いますか。自らの考えを論じてください(800 字程度)」という質問が出された。この質問への回答は直接業務にかかわるものとは思えない。この会社は何を意図してこのような質問を設定しているのだろうか。この質問は応募者のどのような資質を見ようとしているのだろうか。多様な観点から考察してみよう。
- ② 下図は、日本における女性の年齢階級別労働力率の推移を示したものである。1981 年のグラフに見られるように、これまで日本では、女性の労働力率は 20 歳代後半から 30 歳代後半にかけて減少する傾向が見られた。そして、グラフの形から、日本の女性年齢階級別労働力率は「M 字カーブ」を描くといわれてきた。しかし、近年はその傾向が見られなくなってきた。なぜ以前は「M 字型」だったのだろうか。また、なぜ最近「台形型」になってきているのだろうか。その原因について考えてみよう。

図 日本における女性の年齢階級別労働力率の推移



EXERCISE ①

- ・文章を書かせること自体からわかることと、書かれた内容からわかることがあるだろう。
- ・学生に文章を書かせることで分かることは何だろうか？ 思いつくことを出来るだけ多く挙げてみよう。
- ・「結果の平等」とは、結果・成果に大きな差を付けないということである。逆に、「機会の平等」とは、チャンスは与えられるかわりに、結果・成果には大きく差がつく可能性があるということを意味する。本章で学んだ日本型企业組織の特徴を踏まえながら、この質問の意図を考察してみよう。

EXERCISE ②

- ・ M 字型カーブを描くということは、就業していた女性が何らかの理由で仕事を辞めているということを意味する。20 歳代から 30 歳代にかけての女性のライフイベントにはどのようなものがあるだろうか？
- ・ 104 ページの **Column**⑰はグラフの形状の変化とどのような関係があるだろうか？